

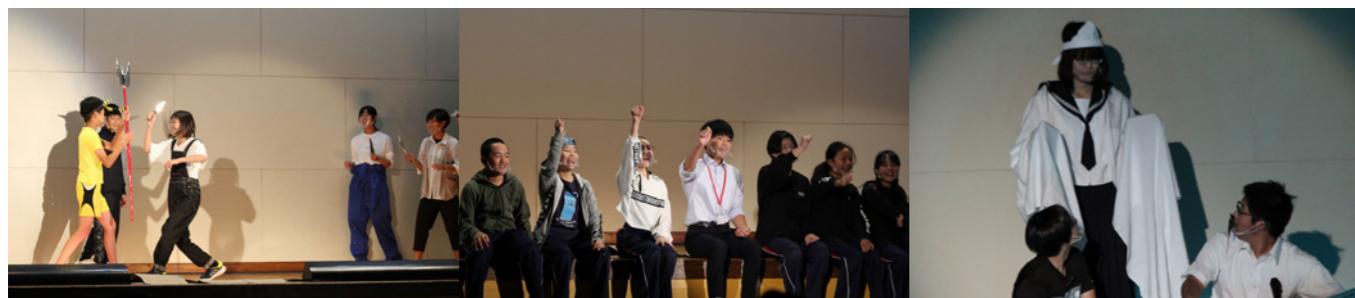
最「光」のパフォーマンスを

9月4日（土）にトمام学校・トمام保育所合同学芸会と占冠中学校学校祭が行われ、合唱や演奏、創作劇など、園児・児童生徒がのびのびと工夫を凝らした表現を披露していました。



↑トمام学校
トمام保育所

←占冠中学校



田中村政 二期目始動。



8月24日告示の占冠村長選挙にて無投票当選を果たし、9月1日に当選証書が授与されました。田中村長より村民の皆さまへごあいさつ申し上げます。

2期目の占冠村長選挙に臨むにあたって、これまで掲げた基本的な政策を継続し、4年間の成果をより確実なものとするのはもちろん、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、新たな課題に向けた取り組みを実行することを目標として立候補しました。

しかし、告示1週間前には自分の不注意から転倒し、外傷性気胸で救急搬送となり、手術も含め3週間の入院を余儀なくされ、村長選挙が本人不在の中で行われ、村民のみなさんに多くを語れないままではありましたが、ご理解と温かいご支援により、無投票当選の栄えを与えていただき心より感謝し厚くお礼申し上げます。

9月8日に退院し、その職責の重さを感じながら、まだ一部制限はありますが毎日元気に職務に励んでいます。

村政執行の基本をこれまで同様、すべての村民が報われる社会をめざし、「生まれて良かった」「育てて良かった」「暮らして良かった」として住み続けたいと思える村づくりを念頭に、3つの基本的な考えを申し述べてきました。

1つ目は持続可能な地域づくりとして、経済循環が活発な社会、移住・定住・起業が考えられる社会、それぞれの特性を生かした集落づくりを進め、働く方々の汗が報われる村づくりであります。

2つ目は安全で安心な暮らしを守る基盤づくりとして、医療や福祉、交通、防災など生活インフラの拡充とボランティアなどを含めた地域協働による、安心して暮らせる村づくりであります。

もうひとつ加えなければならぬのが、新型コロナウイルス感染症対策であり、村民一人ひとりの知恵やアイデアなど、幅広い皆さんのお力をお借りし、この大変な状況を乗り越りたいと考えております。

3つ目は未来を託す子ども環境づくりとして、子育て家族が安心して働ける環境整備、時代のニーズに寄り添った教育環境の整備充実、平和や国際感覚を体験できる教育など、子どもたちがいきいきと学び、郷土を自慢できる村づくりであります。

私自身の力は微力ではありますが、情報発信をしっかりと行い、村民の皆さんのご意見をいただきながら、議会議員の方々とも協力し合い、住みよい郷土占冠をつくるため邁進いたします。どうかこれからも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

占冠村長 田中正治

副村長に松永英敬さん、 教育長に多田淳史さん



新たに教育長に任命された多田淳史さん

教育長を退任される藤本武さん

副村長に選任された松永英敬さん

9月24日の占冠村議会第4回定例会に提出された任期満了による副村長の選任同意並びに教育委員会教育長の任命同意について、副村長は引き続き松永英敬さん、教育長は藤本武さんが任期満了で退任され、新教育長に多田淳史さんが任命されました。